



Weekly Report

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを実践しみんな豊かな人生を

2013-2014 年度 R.I.会長

ロン D.バートン

名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 13:00-14:00

例会場 ANA クラウンプラザホテル

グランコート名古屋

創 立 2013 年 6 月 5 日

会長 八神 基 幹事 荒山 久美

第 20 回例会 2013 年 11 月 13 日 水曜日 晴れ時々曇り

斉唱 「我等の生業」

出席者報告

例会	第20回(11/13)	第19回(11/6)	第18回(10/30)
会員数	33名	34名	34名
出席	25名	27名	28名
欠席	8名	5名	5名
Make Up	-	2名	1名
出席率	75.76%	85.29%	85.29%

ニコボックス報告

八神会長 後藤さん、鬼頭さん 卓話楽しみです。
後藤卓郎さん、鬼頭容子さん
本日卓話をいたします。

会長挨拶

いま連日、主に食品の材料のニセ表示が次から次へと発覚し、会社トップが謝罪する場面がメディアに登場しています。こんな光景は、数年前にもありました。食肉のミートホープ、大阪の吉兆、伊勢赤福の巻き直し、などなどです。記憶していますのは、謝罪会見に臨む社長の襟元にロータリーバッジが光っていたことがありました。ロータリアンは世間からは、善良なる職業人として見られ、ロータリアン同志ではダメすとか・ゴマカすといった不正な取引はしないと信じ合えるはずなのに……何の躊躇も無く平然と、そのような場面でロータリーバッジを曝け出されたことに、同じロータリアンとして忸怩たる思いがしました。

この人たちはロータリーでいう“4つのテスト”を忘れているというよりも、もともと身に付けることをしない人達だったのでしょう。ロータリアンの根本信

条の“グッドウイル”(善意・信用)が問われます。今回の謝罪の場面では、多分記者会見の振り付けをするプロの指導を仰いでいますから、その中にもロータリアンはいるでしょうが、誰一人としてバッジは胸にしていらないと思います。

今回の一連の食材偽装問題を引き起こした真の原因は、とにかく見栄えはよく・しかも値段の安いもの、安いものへとなびくバブル崩壊以後の消費者心理が引き起こしている“価格デフレ”にあるとする見解を新聞紙上で見て、なるほどと思いました。今回の一連の騒動では、“安全・安心”は犯してはいない、被害者も出ていない。ただダメされてシャクに障るということでしょう。食べ物を提供する側は、真つ当な材料を使うとライバルに負ける、だからウチも素材をチープなものに変える。これまでそれで済んできた“が”、内部告発です。内部告発はその殆どが、会社・上司に対するウラミ・ツラミから当局やマスコミへの垂れ込みで、アウトになる構図です。

ロータリアンは少々値段が高かろうと、ぐっとヤセ我慢して、ホンモノで勝負し、細くても長く職業に尽くしたいものだあと、改めて感じました。今日は、私の自戒の気持ちも込めて、少々硬い話をいたしました。

幹事報告

11/18 18:00 から第 3 回アイリスの集いを「丸小」にて開催します。

次回例会時に各委員会の役割りと地区への協力についての説明をしますので、必ずクラブ計画書を持参して下さい。

11/24 12:00~17:30 ウェスティンナゴヤキャッ

スルにて地区大会が開催されます。当クラブの第 22 回例会でもありますので、お勉強を兼ねて出席してください。

12/6 涼仙ゴルフ倶楽部にて第 1 回名古屋アイリスゴルフコンペを開催します。参加申込書は幹事まで。詳細については細川さんにお尋ねください。

本日の卓話

「自己紹介と私の職業について」

名古屋アイリス RC

クラブ管理運営（例会準備・会場設営）

後藤 卓郎さん

私は 1953 年 7 月 19 日に名古屋市西部にある戸田川と蟹江町との境にある福田川に挟まれた田畑の広がる中川区富田町戸田で生まれ、今年還暦を迎えました。

父親は公務員、祖母と母が田畑の世話をしている家で育ち、ワンパクな幼少期を過ごしていました。1959 年 9 月 26 日にこの地方を襲った伊勢湾台風によって 1m10cm の床上浸水被害を受け、翌年 1 月に同じ近鉄沿線の中村区米野に引っ越ししました。同年 4 月に米野小学校に入学し、1972 年 3 月に明和高校を卒業するまで過ごしました。振り返ってみますと、伊勢湾台風で被災したことが、人生の転機になったと思います。あのまま戸田で暮していれば高卒で就職し、休みには田畑の世話をしていたと思います。

小学校 5・6 年生時の担任が強烈な先生で、定期テストが終わる度にその成績順に座席を変更するので、従って父兄参観日には誰が勉強が不得手なのか一目瞭然なので、否が応でも勉強せざるを得ない状況に追い込まれました。中学生になってバレーボール部に入部しました。1964 年に開催された東京オリンピックで女子が金メダル、男子が銅メダルを獲得したため、当時はとても人気のあるスポーツでした。日本鋼管の松平監督率いる男子チームは、その後メキシコで銀メダル、ミュンヘンで金メダルと上り調子で、テレビ番組も盛んでした。今の体型からは想像できないと思いますが、学生時代は現在より 15 kg 以上体重が少なくスリムな体型でジャンプ力もありましたので、バレーボールに熱中しました。高校でも嵌ったため大学の一期校の入試には失敗しました。自分としては第二志望の地元の名門校「河合塾」を希望したのですが、浪人はさせてもらえませんでした。当時は全くお節なことに新聞に合格者名が掲載されるため、二期校の「和

歌山」に合格していることが父親の知るところとなり、尾張と同じ「葵」の御紋である徳川御三家の「紀州の地」で 4 年間を過ごすことになりました。嫌々行ったものの、「住めば都！」和歌山は瀬戸内式気候の温暖な土地で、人柄もノンビリとしていて、実に快適な 4 年間を過ごしました。

就職活動を行った 1975 年はニクソンショック、第一次オイルショックの後で、メーカーを始め「軒並み採用縮小」という大変厳しい状況でした。長男であって、名古屋で就職したい気持ちが通じたのか、それともご縁があったのかはよく分からないのですが、1976 年 4 月に名古屋鉄道に入社しました。津島幹事駅・名古屋車掌区・一宮自営での 1 年間の現場実習と、名鉄伊東温泉・旅館「那古野」での 2 年 3 ヶ月の子会社研修出向を終えて、1979 年 6 月に入社して 4 年目にして本社勤務となりました。ここでは、年中残業ばかりと評判極悪の財務部主計課でした。前任地の名鉄伊東温泉は大変えげつなく、研修出向中の休みは正月過ぎの 3 日間、2 年 3 ヶ月の勤務期間中の休みは合計で 7 日間あっただけだったので、「また休めないのかよ？」って感じで、蟹工船のような生活を覚悟して主計課に出社しました。上司の係長の第一声は、「家はどこだ？」「終電は何時だ？」でした。まさかこの上司と主計課で 23 年と監査役時代の 2 年、実に四半世紀もご一緒することになるとは全く想像していませんでした。何故なら当時の名鉄グループには和歌山県内に「和歌山名鉄運輸」と「串本海中公園センター」という 2 つの子会社があり、いずれはどちらかの子会社へ出向して定年を迎えるものと思っていたからです。定期異動の時期になると、毎年噂に挙がるものの一向に呼び出しはありませんでした。1989 年ベルリンの壁が崩壊して、企業活動がグローバル化し、ヒト・モノ・カネが国境に関係なく移動する時代を迎え、バブルの崩壊もあって、いわゆる「会計ビックバン」が始まり、「連結決算」と「時価主義」をポイントとする国際会計基準への対応に追われながら、主に決算業務を担当し、主計課に 23 年間在籍しました。部長時代の 5 年間は経営管理室（4 年）とコンプライアンス部（1 年）で、予算と内部監査を各々担当しました。2007 年 6 月に常勤監査役になって 2 年間、2009 年 6 月に取締役、翌年常務になって財務部長を 3 年間勤めて、昨年 6 月に名鉄グランドホテルの専務に異動しました。財務部在籍通算 30 年を含めて、鉄道本社 33 年間は、今日一

日どうやって時間を潰そうか？と悩む事は全く無く、常に仕事に恵まれ、アツという間に過ぎ去ってしまった感じです。昨年6月に名鉄グランドホテルに異動し、今年6月にホテルグランコート名古屋に異動しまして、現在ホテル業2年生です。何故自分がホテル屋なのか分かりませんが、サラリーマンは「紙切れ1枚で泣いたり笑ったりの悲しい性(さが)」と割り切るしかありません。グランドホテルでは何にも専務でよかったのですが、今は総支配人を委嘱されていますので、会議なども多く、一日が早く過ぎ去ります。

次に「ANA クラウンプラザホテル・グランコート名古屋」についてお話させていただきます。名古屋市戦後の戦災復興計画における金山地区を副都心とする構想に基づいて、国鉄・名鉄・地下鉄の3駅を一体化した総合駅が1989年7月にデザイン博の開幕に同調して開業しました。1999年に副都心のランドマークとして「金山南ビル(地上31階・地下4階建)」が完成し、同年3月26日に「名古屋都市センター」、4月8日に「ホテルグランコート名古屋」、4月17日に「名古屋ボストン美術館」がそれぞれオープンしました。「ホテルグランコート名古屋」は、地下2階～10階と14階～31階部分を(財)名古屋都市整備公社から賃借して営業しています。名古屋商工会議所を中心とした名古屋財界各社の出資で創立された当ホテルは、経営トップは「名古屋鉄道」から派遣し、運営については「名古屋観光ホテル」に全面委託する計画でした。詳しい経緯は分かりませんが「観光ホテル」さんが辞退されたため、国内や海外で多数のホテルを運営する「全日空エンタプライズ」と提携し、「全日空ホテルズ・ホテルグランコート名古屋」として開業しました。2010年10月に世界最大の客室数を有する英国のインターコンチネンタル・ホテルズ・グループのひとつであるクラウンプラザとANAの共同ブランドである「ANA クラウンプラザ・ホテルグランコート名古屋」として新しくスタートしました。世界最大のホテルグループへの共同ブランド化により、一層のサービスの向上を図り、国際感覚豊かな心安らぐ町づくりの一翼を担い、地域の発展に寄与できるよう努めてまいります。当ホテルの客室数は246部屋(シングル90室・ダブル42室・ツイン105室・スイート9室)です。宴会場は大小10室で、大宴会場が7F:ザ・グランコート;着席400名・立食500名、5F:ローズルーム;着席210名・立食250名、18F;クリスタ

ルルーム;着席140名・立食200名の3室と、会議など多目的にご利用いただける小宴会場が5Fと6Fに7室あります。レストランは5つありまして、30Fにバーを備えた洋食の「スターゲイト:98席・個室2室」が、29Fに中国料理の「花梨:146席・個室7室」と、寿司の「乾山:38席」が、3Fに京料理の「たん熊:110席・個室2室・座敷5室」が、2Fにはバイキング方式のカフェレストラン「オーキッドガーデン:184席」があり、その他1Fには34席の「ロビーラウンジ」があります。

当ホテルは名古屋市内のシティーホテルでも決して規模の大きなホテルではありません。それ故一人一人のお客様を大切に、宿泊・宴会・レストランの各スタッフが連携して細かいサービスを行うことが出来ますのが、当ホテルの魅力でありまして、お客様への「心に響くおもてなし」をご提供できるよう、努めております。

ロータリークラブに入会して、「4つのテスト」、すなわち 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか を、仕事を進めるうえで常に参考にさせて戴いています。これは大変良いことを教えて戴いたと感謝しています。現在は家庭と職場を往復する日々が多く、面白みに欠けた「仕事人間」ですが、今後は色々な活動に参加して幅を広げていきたいと考えていますので、これからも宜しくご厚誼賜りますようお願い申し上げます。卓話とさせていただきます。

これからの例会予定

【第21回例会】

11月20日 水曜日 13:00～14:00

ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

卓話の担当は 綿貫さん

「クラブ計画書」持参すること!!

【第22回例会】2013-2014 地区大会

11月24日 日曜日 12:30～17:30

ウェスティンナゴヤキャッスル

大会プログラムを参照してください。